

65年の歴史に幕

菱田中学校閉校式

今年4月から町内の中学校が統合され、新生『大崎中学校』としてスタートすることに伴い、平成26年3月31日をもって閉校することとなった菱田中学校（西哲也校長、生徒数40名）の閉校式が2月23日（日）に開催され、地元住民や当時の先生方、関東・関西などからの卒業生、約350名が駆けつけました。

昭和24年4月に菱田小学校と中沖小学校の卒業生を合わせて生徒数291名で開校以来、4534名の卒業生を送り出した菱田中学校。昭和37年（1962年）には368名の生徒が在籍していましたが、少子化の影響で現在の生徒数は40名まで減少し、3月末をもって65年の歴史に幕をおろすことになりました。

同校は、校訓である『自主・持久・創造・協同』の精神で、勉学はもとより部活動や地域活動にも積極的に取り組んでいました。部活動では、軟式テニスやバレーボール、剣道が盛んで県大会で優秀な成績を残しました。また、地域活動（ボランティア）では、地元の菱田海岸での清掃活動が評価され、国土交通大臣表彰を受賞するなど文武両道の『菱田中魂』は4月に誕生

する新生『大崎中学校』へ引き継がれることになりました。

閉校式では、PTAを代表して川越孝志さんが「私自身や父・姉などが卒業し、今私の子どもの3世代目に通っている中学校がなくなることが想像できませんでしたが、子どもたちが勉強や部活動を通じて新生『大崎中学校』で活発になることが、我々保護者や子どもたちの義務ではないかと感じています。」と話され、最後の校長となった西校長は「この地で先輩方が築いてこられた伝統や菱田中魂は、必ずや新生『大崎中学校』に受け継がれていくと確信しています。」と話されました。また、生徒代表の川越拓人くんが「菱田中学校が間もなく閉校を迎え、4月からこの校舎で学ぶことができなくなると思うと本当に寂しいです。多くの先生方、地域の方々や先輩方に温かく見守られ、仲間と過ごした日々は一生の宝物です。『菱田中学校の生徒』であったことを誇りに僕たちはこれから生活していきます。」と述べていました。その後、校旗が生徒から校長そして町長へと返納され、最後に全員で校歌を斉唱しました。

ありがとう菱田中
不滅の光、永遠に輝け!

平成26年3月閉校（創立65年）

大崎町立菱田中学校閉校記念式典委員会



町長へ学校旗返納



参加者全員で校歌斉唱